

永山会長が続投

組織・ネットワーク拡充

【福岡】福岡県トラック協会女性協議会（永山美由紀会長）は6月23日、総会を開き、組織とネットワークの拡充強化、交通事故防止の徹底、業界のイメージアップ、標準的な運賃の普及推進を重点項目とする2021年度の事業計画と予算を承認した。



任期満了に伴う役員改選では、永山会長（福岡ロジテック）が続投。副会長に西尾亜希（西尾トラック運送）、川内和

「より良い方向に進んでいくため、意見を出し合っている」と永山会長

恵（西田商運）、大村さつき（さつき運送）の各氏を選んだ。

永山氏が「20年度は新型コロナウイルス禍で様々な活動の自粛を余儀なくされ、残念だった。11月の九州ブロック女性協議会では、（テレビ会議システム）Zoom（ズーム）を利用した初の研修会を行った。九州ブロック女性協の会長のバトンを熊本県につなぐことができた。女性協議会がより良い方向に進んでいくため、意見を出し合っている」とあいさつ。

今回の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、一部の会員はオンラインで参加した。（高松美希）

そのため、全ト協の賛同を得て、全ト協及び九ト協の提供番組として配信された。

このほか、物流DX（デジタルトランスフォーメー

ション）の推進、大規模災害の発生に対応するため、九州ブロックの緊急連絡網の整備、相互応援体制の運用、衛星携帯電話を活用し

た情報伝達訓練、自治体と緊急救援物資輸送に関する協定の締結を進めていく。

（武原顕）